

<参考資料> 平成30年度 福井県 専門看護師・認定看護師一覧

専門看護師

分野名	登録数	知識と技術（一部）	研修内容
がん看護	4	・がん患者の身体的・精神的な苦痛を理解し、患者やその家族に対してQOL（生活の質）の視点に立った水準の高い看護を提供する。	がん患者や家族とのコミュニケーション倫理的な問題 意思決定支援における看護師の役割 認知機能低下を伴う高齢者の治療選択など セクシュアリティに対する看護
精神看護	1	・精神疾患患者に対して水準の高い看護を提供する。また、一般病院でも心のケアを行う「リエゾン精神看護」の役割を提供する。	一般病院で実践できる自殺予防のためのケア 認知症者への接し方 看護倫理（特に小児看護）
慢性疾患看護	1	・生活習慣病の予防や、慢性的な心身の不調とともに生きる人々に対する慢性疾患の管理、健康増進、療養支援などに関する水準の高い看護を行う。	慢性疾患における自己管理行動支援
急性・重症患者看護	1	・緊急度や重症度の高い患者に対して集中的な看護を提供し、患者本人とその家族の支援、医療スタッフ間の調整などを行い、最善の医療が提供されるよう支援する。	術後患者の合併症の理解と看護ケア 人工呼吸器装着患者の看護
小児看護	1	・子どもたちが健やかに成長・発達していけるように療養生活を支援し、他の医療スタッフと連携して水準の高い看護を提供する。	長期入院をしている子どもと家族への看護 終末期を迎える子どもと家族への看護 復学支援 きょうだい支援 長期フォローアップ
災害看護	5	・災害の特性をふまえ、限られた人的・物的資源の中でメンタルヘルスを含む適切な看護を提供する。平時から多職種や行政等と連携・協働し、減災・防災体制の構築と災害看護の発展に貢献する。	病院の災害対策 介護事業部、訪問看護での災害対策

認定看護師

分野名	登録数	知識と技術（一部） *看護協会HPより抜粋	研修内容
救急看護	13	・救急医療現場における病態に応じた迅速な救命技術、トリアージの実施・災害時における急性期の医療ニーズに対するケア・危機状況にある患者・家族への早期の介入および支援	ショック敗血症での看護 急変時の対応 フিজカルアセスメント 危機状況にある患者家族看護（自殺企図患者） 救急カートの管理について
皮膚・排泄ケア	20	・褥瘡などの創傷管理およびストーマ、失禁等の排泄管理 ・患者・家族の自己管理およびセルフケア支援	褥瘡 ポジショニング演習 スキンケア スキンケア 医療関連機器圧迫創傷 オムツの選択や交換方法 自己導尿のセルフケア支援 排尿自立に向けた支援
集中ケア	8	・生命の危機状態にある患者の病態変化を予測した重篤化の予防 ・廃用症候群などの二次的合併症の予防および回復のための早期リハビリテーションの実施	フィジカルアセスメント 人工呼吸器管理 不整脈への対応 敗血症の看護 深部静脈血栓症予防 ルートドレーン管理 バイタルサインの考え方
緩和ケア	11	・疼痛、呼吸困難、全身倦怠感、浮腫などの苦痛症状の緩和 ・患者・家族への喪失と悲嘆のケア	グリーフケア リンパ浮腫ケア 意思決定支援における看護師の役割 スピリチュアルケア 看取りのケア 家族看護 がん患者の口腔トラブルとケア カンファレンス 事例検討
がん化学療法看護	9	・がん化学療法薬の安全な取り扱いと適切な投与管理 ・副作用症状の緩和およびセルフケア支援	薬物療法を受けながら在宅療養を続ける患者への支援 事例検討 アピアランスケア（外見のケア） 抗がん剤の副作用 曝露対策
がん性疼痛看護	9	・痛みの総合的な評価と個別的ケア ・薬剤の適切な使用および疼痛緩和	具体的な疼痛の聴き分け方 高齢者の痛みのケア リンパ浮腫ケア
訪問看護	8	・在宅療養者の主体性を尊重したセルフケア支援およびケースマネジメント看護技術の提供と管理	訪問看護での倫理的問題 在宅復帰に向けての移行支援 地域包括ケアにおける看護師の役割 在宅に向けての移行支援
感染管理	27	・医療関連感染サーベイランスの実践 ・各施設の状況の評価と感染予防・管理システムの構築	標準予防策（手指衛生など） 疾患別感染対策 職員の感染予防 実技（個人防護具の着脱 吐物処理など） 施設ラウンド
糖尿病看護	5	・血糖パターンマネジメント、フットケア等の疾病管理および療養生活支援	糖尿病の基礎知識 治療とケア 糖尿病性腎症予防 妊娠糖尿病 フットケア
不妊看護	1	・生殖医療を受けるカップルへの必要な情報提供および自己決定の支援	不妊相談 不妊相談助成金の申請について
新生児集中ケア	3	・ハイリスク新生児の病態変化を予測した重篤化の予防 ・生理学的安定と発育促進のためのケアおよび親子関係形成のための支援	ハイリスク新生児に対する親子関係形成 人工呼吸器装着中のケア 出生立ち合いにおける看護
透析看護	6	・安全かつ安楽な透析治療の管理 ・長期療養生活におけるセルフケア支援および自己決定の支援	腹膜透析の看護 腎代替療法選択に対する支援 腎不全教室について

分野名	登録数	知識と技術(一部) *看護協会HPより抜粋	研修内容
手術看護	11	・手術侵襲を最小限にし、二次的合併症を予防するための安全管理(体温・体位管理、手術機材・機器の適切な管理等) ・周手術期(術前・中・後)における継続看護の実践	麻酔が患者に与える影響 手術侵襲と術後合併症 術前評価 患者と家族の心理支援 チームワーク安全風土の醸成
乳がん看護	5	・集学的治療を受ける患者のセルフケアおよび自己決定の支援 ・ボディイメージの変容による心理・社会的問題に対する支援	自己検診について リンパ浮腫の予防セルフケア(上肢) 乳がんと妊孕性
摂食・嚥下障害看護	7	・摂食・嚥下機能の評価および誤嚥性肺炎、窒息、栄養低下、脱水の予防 ・適切かつ安全な摂食・嚥下訓練の選択および実施	嚥下障害と終末期の栄養管理について 食事介助の基礎演習 口腔ケア 事例検討
小児救急看護	1	・救急時の子どもの病態に応じた迅速な救命技術、トリアージの実施 ・育児不安、虐待への対応と子どもと親の権利擁護	発達段階に応じたフィジカルアセスメント ブレバレーションを含む看護ケアの提供 子どもの事故と予防
認知症看護	8	・認知症の各期に応じた療養環境の調整およびケア体制の構築 ・行動心理症状の緩和・予防	せん妄と認知症 退院支援ケアチーム体制の構築 療養環境の作り方
脳卒中リハビリテーション看護	8	・脳卒中患者の重篤化を予防するためのモニタリングとケア ・活動性維持・促進のための早期リハビリテーション ・急性期・回復期・維持期における生活再構築のための機能回復支援	脳卒中の合併症予防とポジショニング 生活の中でできるリハビリテーション看護 初期対応 危険防止対策
がん放射線療法看護	2	・がん放射線治療に伴う副作用症状の予防、緩和およびセルフケア支援 ・安全・安楽な治療環境の提供	放射線治療の副作用 セルフケア
慢性呼吸器疾患看護	18	・安定期、増悪期、終末期の各病期に応じた呼吸器機能の評価及び呼吸管理 ・呼吸機能維持・向上のための呼吸リハビリテーションの実施 ・急性増悪予防のためのセルフケア支援	在宅酸素療法について 吸入療法について 禁煙外来のすすめ方と心理的支援 外来指導(禁煙、吸入、HOT、NPPV) 在宅における呼吸器疾患看護 呼吸フィジカルアセスメント 口腔ケア
慢性心不全看護	3	・安定期、増悪期、終末期の各病期に応じた生活調整及びセルフケア支援 ・心不全増悪因子の評価およびモニタリング	心不全増悪因子回避のためのセルフケア支援 指導
精神科看護	6	・うつ病看護、精神科薬物療法看護、精神科訪問看護等	看護師のストレスへの対処 疾患の理解 身体拘束減少に向けてできる看護ケア 死にたい人にどう関わるか 精神訪問看護 困難事例検討 疾患の理解

研修テーマ、内容については自病院のニーズを具体的に、講師との事前打ち合わせでご検討ください。

## <平成 30 年度 感染管理認定看護師による施設ラウンドについてのご案内>

福井県認定看護師出前講座の一環として、感染予防の視点で施設ラウンドを実施いたします。



### ➤ 「施設ラウンド」(以下 ラウンド)の流れ

1. 施設は、福井県認定看護師出前講座「施設ラウンド希望」として申し込みをする。
2. 施設と感染管理認定看護師で日程調整を行う。
3. 施設は、事前に送付される「施設ラウンド自己評価票」にそって評価を行い、ラウンド当日までに感染管理認定看護師に自己評価結果を報告する（メール、FAX または郵送）。
4. ラウンド後、感染管理認定看護師は、施設ヘラウンドの結果を報告する。（メール、FAX または郵送）。
5. 施設は、ラウンドで指摘された事項について改善に向けた活動を行う。
6. 施設は、あらかじめ決めた報告日までに実施した内容を感染管理認定看護師に報告する。（メール、FAX または郵送）

### ➤ 「施設ラウンド」に関する要件

- ラウンド施設数：4 施設
- ラウンド日時：平日 13 時～16 時（ラウンドおよび意見交換等の時間を含む）
- 感染管理認定看護師：2 名（申し込み後に担当者を決定する）
- 申込締切 5月11日（金）必着